第2回松原地区のまちづくり有識者会議での御意見への対応について

番号	意見の概要	意見への対応	ビジョン（案）での具体的な記載箇所・内容			項目 (議事要旨に 対応)
1	どのような場所なのかということ人を人に伝えていく必要がある。この場所を何と説明していくのかによって利用者や周辺の人を持つ印象が非常に変わってくるため、エリアの全体像を伝えられる言葉を与えることができることと良い。 また、リニューアル後に棟方志功記念館の名称をどうするのか。	エリアの説明については、整理シビジョンに記載。 棟方志功記念館の名称については、今後の設計や運営方法を詰めていく段階等において検討。	2-1-(2) 対応策	P11	頁全体	エリア全体・ 周辺施設や資源等との連携 関係
2	棟方志功だけではなく、青森市が所蔵する様々な美術・芸術作品や民俗史料等を再価値化し、価値を提示していくことも重要だと思う。	体験コンテンツの充実及び市所蔵作品等の活用について、整理シビジョンに記載。	2-2-(1) 文化・芸術学習拠点機能	P13	上から4行目～ 上から8行目～	文化・芸術学 習拠点機能関 係
3	将来的なことを考えて、新しく建設される統合施設においても、いずれ棟方志功記念館の代替となり得る機能を備えておくべきではないか。	文化・芸術学習機能の引継ぎ（代替）について、整理シビジョンに記載。	2-2-(1) 文化・芸術学習拠点機能	P13	上から13行目～	
4	ダンスやバンドの練習ができるなど、10代、20代の若者も訪れるような楽しい松原地区にしてほしい。	若者も使用できるダンスや楽器の演奏に対応した部屋等の配置、さまざまな世代の交流の場や自由な時間を過ごす場としての利用について、整理シビジョンに記載。	2-2-(2) 市民センター機能	P14	上から2行目～ 上から8行目～	必要機能全般
5	機能がない場所、目的がなくても居られる居場所になるところが重要ではないか。	目的がなくとも居られる場所とすることについて、整理シビジョンに記載。	2-2-(2) 市民センター機能	P14	上から8行目～	市民センター 機能関係
6	プラネタリウムとともに科学を学ぶことができ、子ども達が訪れたくなる、子ども達をここで学ばせたいと思ってもらえるような機能を持たせてほしい。	科学を含め子ども達が学べる機会の確保について、整理シビジョンに記載。	2-2-(3) 子ども学習機能	P15	下から8行目～	子ども学習機 能関係
7	空襲資料について、学習機能をより高めるためには、関連補助資料の充実、音声ガイドダンスの利用、解説動画の用意や、テーマ別に定期的に展示を入れ替えること等も必要ではないか。	展示内容の工夫や説明の充実等の資料活用の方策について、整理シビジョンに記載。	2-2-(4) 歴史学習機能	P16	下から8行目～	
8	青森空襲に関する様々な資料も、市の所蔵品を活用することでより一体的な展開ができるのではないか。	市所蔵作品等の活用について、整理シビジョンに記載。	2-2-(4) 歴史学習機能	P16	下から4行目～	歴史学習機能 関係
9	デジタルアーカイブなど市全体の歴史が分かるものを備え、そのなかで大空襲も含めて押さえておくことが必要ではないか。	資料の保存や活用の方策について、整理シビジョンに記載。	2-2-(4) 歴史学習機能	P16	下から2行目～	
10	場所・規模などの建て方や発注方法については、これからの少子高齢化社会やまちづくりの骨格を考えた場合に、十分に議論することが必要ではないか。	統合施設の具体的な整備場所については今後の基本計画での規模の検討と併せて決定していくことを整理シビジョンに記載。	3-1-(2) 整備場所について	P21	文章部分	統合施設関係
11	新しい統合施設は、近隣の公園等も含めて、子ども達が訪れたくなるゾーンとなしてほしい。	公園等に点在する文化資産との連携について、整理シビジョンに記載。	3-3 松原地区のまちづくりイ メージ図	P22	頁全体	
12	棟方志功記念館通り（市道勝田松原3号線）を重要なものとして位置づけ考えていくことが必要。また、東西に大きくつながる緑地帯（1号遊歩道緑地）は、シビックプライドにもつながるものになるのではないか。	市道勝田松原3号線をメイン交流導線と位置づけ、回遊や往來のきっかけにつなげることとし、1号遊歩道緑地（文芸のこみち）などに点在する文化資産等への回遊を生み出すことについて、整理シビジョンに記載。	3-3 松原地区のまちづくりイ メージ図	P22	上から6行目～ 松原地区のまちづく りイメージ図	エリア全体・ 周辺施設や資源等との連携 関係
13	平和公園にある記念碑、モニュメント、ジョギングコースや、文芸のこみちにある文芸碑等を活用しコラボレーションするなど、機能をより多面的・重層的に捉えることが必要ではないか。	周辺文化資産等との連携について、整理シビジョンに記載。	3-3 松原地区のまちづくりイ メージ図	P22	頁全体	
14	5つの機能を示すだけでなく、運営も含めた具体的な在り方を考えていくことが必要ではないか。	今後の基本計画・設計、運営方法を詰めていく段階等で検討。				
15	必要機能について、具体的な必要量、現在量、不足量を示した上で、今後こうすべきと整理すれば、論点がより良く見えてくるのではないか。	今後の基本計画・設計段階において検討。				必要機能全般
16	他自治体の事例等も参考にしながら、残すべきものは残す一方で、10年、20年先を見据え、松原地区というゾーンに10年後に住んでいるという考えのなかで新しくつくることができるものはつくっていくことが重要ではないか。	具体について、今後の基本計画・設計段階において検討。				
17	施設をどこまで活用するかや、運営コスト、多方面での補助金等の活用について検討する必要があるのではないか。	今後の基本計画・設計、運営方法を詰めていく段階等で検討。				統合施設関係